



# きさいち おはなしばらけ通信

vol.21



平成26年12月19日  
交野市立糸島市小学校  
読書ボランティア  
きさいちおはなしばらけ

今年も瞬く間に過ぎていき、あっという間に今年最後の月になりました。子どもたちには、クリスマスにお正月と楽しいことがいっぱい待ちうけていますね。

きさいちおはなしばらけでは、2学期後半も、本の修理講座やクリスマス絵本の講習会などに参加しました。12月に入ると、メンバーそれぞれが気に入りのクリスマス本や冬の絵本を持ってクラスを巡っています。どんなクリスマスのおはなしが届いたか、お子さんに聞いてみて下さいね。

そしてやって来る冬休み。朝読で読むことにもすっかり慣れてきた子どもたちですが、普段はなかなか手に取れないような、少し長い物語にも、チャレンジしてみたいか、いかがでしょうか。

## 記録ノート より

「ねえ、今日は何読んだの?」とメンバー同士で「わいわい絵本トーク」するのが至福のひととき...  
今回は高学年のノートから。 \* \*

5年  
「ゆきのうしゆきのうし」  
ケイト・メスナー 文  
クリストファー・サイラス・ニール 絵  
小智直 訳  
福音館書店

雪の下には私たちが想像できないひみつの世界があって、リスやウサギ、クマ、ウシガエリなど、色々な生き物たちが、寒さや危険から身を守りながら暮らしています。科学絵本で選びましたが絵がとても美しいです。(ジヨウ)

5年  
「ぼくがラーメンを食べるとき」  
長谷川義史 作・絵  
教育画庫

おもしろい絵本かと思いきや、だんだんと考えさせられる内容に。ぼくがラーメンを食べてるとき、世界のどこかの国では倒れている子がいる...。笑っていた子どもたちが静かになりました。(ケヨク)

4年  
「マーシャとくま」  
E. ラケョフ 絵  
M. ブラトフ 再話  
うちだりサニ 訳  
福音館書店

木の奥に夢中になり、ただちとばれてマーシャ、森で迷子になってしまいます。くまにつかまって、ずっと一緒に暮らなければならなくなったマーシャ。何とかおじいさんおばあさんの元へ帰りたいと智恵をしぼって...。ロシア民話、絵に迫力がある冊。(ユウク)

「司書さんが学校へ来られるようになったらどう?」と子どもたちに聞いてみたんです。

- ・おもしろ本が見つかるようになった!
- ・僕らが知らんことを教えてくれる。
- ・やさしい~
- ・楽しくなった!

と、ウレシイ声がたくさん!!  
司書さんいつもありがとうございます☆

## お知らせ

おはなしばらけは、今年も「かたのキャンパス」に絵本のブースで参加します。みんな遊びに来てね。

「かたのキャンパス2014 カレとアートが森の中」  
12月23日(火・祝) 10~19時  
大阪市立大学理学部附属植物園

\* 文壇のひろば 16時まで  
展示実習室  
おはなしのじかん 11:30、13:30、15:30  
ハンドベルの音がきこえてきこらばじまり、ばじまり~♪

<p>低学年</p> <p>『朝ごはんつくろう!』 坂本 広子 著 まつもと きなこ 絵 〈偕成社〉</p>	<p>低学年</p> <p>『1月のまき』 かこさとし 作絵 〈小峰書店〉</p>	<p>中学年</p> <p>『ちいさなろぼ』 ルース・エイズワーズ 作 酒井 信義 絵 石井 桃子 訳 〈福音館書店〉</p>	
<p>中学年</p> <p>『ちうかんなアイリーン』 ウィリアム・スタイグ 作絵 おがわ えつこ 訳 らんか社 (旧セーラー出版)</p>	<p>高学年</p> <p>『アンナの赤いオーバー』 ハリエット・ジーフェルト 作 アンタローベル 絵 松川 真弓 訳 〈講談社〉</p>	<p>高学年</p> <p>『ゆかいなホーマーくん』 ロバート・マックロスキー 作 石井 桃子 訳 〈岩波書店〉</p>	
			<p>大人</p> <p>『読む力が未来をひらく』 小学生への読書支援 脇 明子 著 〈岩波書店〉</p>